

■大神景賢 世襲による大内楽所の笛一者(首席奏者)。後鳥羽院の西面の武士を務め、鴨長明と親交した。

おおがのかげたか

厳島神社・・・1168＝

雅楽家大神氏のうち京方の大内楽所の笛一者(首席奏者)を世襲し、横笛の最秘曲たる「陵王」の“荒序”楽章を相伝し、石清水八幡宮を本拠にして山井を名乗った基政から4代目の宗賢の長男に生まれる。

・・・・・・・1172＝ 4歳：弟式賢が誕生。

鹿ヶ谷事件・1177＝ 9歳：

源氏一斉蜂起1180＝12歳：

九条兼実摂政1186＝18歳：

奥州藤原滅亡1189＝21歳：

・・・・・・・1194＝26歳：弟式賢が楽所補任に右衛門志として初出。

東大寺再建完1195＝27歳：

・・・・・・・1198＝30歳：弟(大神)式賢が右近将曹。後鳥羽院政が始まった年、新しく設けられた“西面の武士”に出仕、
源頼朝没・・・1199＝31歳：新築の水無瀬殿に山から飛び込む物体があり、同僚ら待ち構えるなか、池の中嶋に寝て待って、一発の矢で仕留め、それが、巨大なムササビであったとの伝説があるように、優れた武士でもあった。

梶原景時征討1200＝32歳：この頃、後鳥羽院に認められ、北面に参上した13年上の鴨長明と出会い、彼が琵琶を楽所預中原有安に学んでいたことから、親交するようになる。

源頼家暗殺・1204＝36歳：長明が遁世、嫡男に限られる“荒序”相伝の院宣も賜っているにも関わらず、弟式賢が相伝を主張して関係悪化、

・・・・・・・1208＝40歳：父宗賢が将監を退き、弟式賢が右近将監になるが、その後も父宗賢が右近将監と記載される。

・・・・・・・1209＝41歳：楽所に復帰せよとの宣旨、

・・・・・・・1211＝43歳：この間、中原有安が死去したことで、

・・・・・・・1211＝43歳：この頃、長明が敢行した、いわゆる“賀茂の秘曲合わせ”に、子景基と参会。正式な相伝でない琵琶の秘曲「啄木」を奏した長明は、琵琶西流の当主藤原孝道から後鳥羽院に訴えられ、京都を離れることになる。

方丈記・・・1212＝44歳：子景基が初めて楽所に奉仕。長明が随筆「方丈記」を執筆。

北条霸権確立1213＝45歳：

・・・・・・・1216＝48歳：長明が死去。

・・・・・・・1218＝50歳：興福寺の常楽会の“荒序”では、弟式賢が太鼓を演奏、

承久の乱・・・1221＝53歳：頼りにしてきた後鳥羽院が、承久の乱を起こして敗退、何とか、子の景基への相伝を図ろうとするうち、

・・・・・・・1222＝54歳：

親鸞真宗始・1224＝56歳：所従のために、殺害された。弟式賢が笛の一者になり、弟の子孫が台頭していくことから、所従とは、弟の関係者であったとされる。
翌年、閑院殿の北陣において、“荒序”の舞なしの演奏があり、弟式賢が笛を吹いたらしいが、のち、兄同様、右衛門尉を降格になり、12年後、死去している。